

## ミクロネシア連邦(FSM)月報(2017年9月分)

在ミクロネシア大使館

### 1 内政

#### ポンペイ州副知事による州内の学校へのサプライズ訪問

7日、オリバー・ポンペイ州副知事及びリチャード・クラーク教育アドバイザーはポンペイ内の学校の教材不足や施設の不具合といった問題点を把握すべくサプライズ訪問を行った。今後ともかかる訪問を行い、実態の把握に努める予定。

(9月7日付カセリエプレス紙)

#### 元ソケース市役所職員が7000ドルを着服

8日、ポンペイ州会計検査局は元ソケース市役所職員3名が同市役所の金7,000ドルを着服していたと報告した。3名のうち1名は既に国外に脱出している模様。

(9月8日付カセリエプレス紙)

#### 第38回ポンペイ Liberation Day の開催

11日、今年で第38回目となる日本統治からの解放を祝う式典がポンペイ内の競技場で開催されピーターソン州知事、マウリシオ連邦歴史保存局長他が出席した。

(9月11日付カサレリエ紙)

### 2 外交

#### Wang Jiarui 中国人民政務協商会議副議長のポンペイ訪問

1日から2日にかけて、Jiarui 中国人民政務協商会議副議長がポンペイを訪問し、シミナ連邦議会議長と2023年問題に関する信託基金への中国による支援や北朝鮮問題等につき意見交換を行った。その際 Jiarui 副議長は今後ともミクロネシア連邦を支援する旨約束し、また、シミナ議長は一つの中国政策の支持を維持していく旨表明した。Jiarui 副議長一行の空港到着時にはモーゼス連邦議会議長及びプレトリック外務副大臣が出迎えた。

(9月1日付カセリエプレス紙)

#### PIFで北朝鮮関連船舶の船籍剥奪を確認

9月にサモアで開催されたPIF総会にて、北朝鮮の核脅威に対抗して、北朝鮮関連船舶の船籍剥奪を行う旨合意され、コミュニケに記載された。また、豪州やNZが違法船籍の特定化に協力することとなった。

(9月11日付ヤップニュース)

#### 4名のネパール人難民のスウェーデン定住が決定

10日、2014年の10月以来ポンペイに滞在していた4名のネパール人難民はスウェーデン政府が引き受けることとなった。スウェーデンへの移住に際してはIOMが支援した。

(9月14日付カサレリエ紙)

#### ミクロネシア連邦、ロシアと相互査免を結ぶ

22日、国連総会出席中のロバート外相は露外相との間で相互査証免除に関わる協定に署名した。

(9月22日付政府広報)

#### ミクロネシア連邦、米に対し北朝鮮問題に関する要請を行う

27日、ミクロネシア連邦政府は米務省に対し、多くのミクロネシア人がグアムに居住している事実に鑑み、北朝鮮による核・ミサイル攻撃は現実の問題であり、米、中国、露が協力して太平洋地域における核戦争の可能性を回避すべく解決策を見出してほしい旨訴えた。

(9月27日付カサレリエ紙)

#### 新ドイツ大使が信任状を奉呈

8月28日、Gordon Kricke 新ミクロネシア独大使(兼轄)はクリスチャン大統領に信任状を奉呈した。

(8月28日付 政府広報)

#### 新NZ大使が信任状を奉呈

13日、Karen Lyons 新ミクロネシアNZ大使(兼轄)クリスチャン大統領に信任状を奉呈した。

(9月13日付政府広報)

#### 新コソボ大使が信任状を奉呈

13日、Malazogu 新ミクロネシア・コソボ大使(兼轄)はクリスチャン大統領に信任状を奉呈した。

(9月13日付政府広報)

#### ヨシヲ・ジョージ副大統領、国連総会で演説

23日、ジョージ副大統領はニューヨークで開催された第72回国連総会に出席し、気候変動、漁業問題、国連改革、持続的開発のための取り組み等に関する演説を行った。

(9月23日付政府広報)

#### アルメニアとの外交関係を樹立

23日第72回国連総会に出席中のロバート外相はアルメニアの Nalbandian 外相との間でミクロネシア連邦とアルメニアとの間の外交関係樹立に関する議定書に署名を行った。

(9月23日付政府広報)

#### 当地中国大使館、ナショナル・デイ・レセプションを開催

30日、当地中国大使館は第68回目の中国国慶節を祝うレセプションを同大使館にて開催した。レセプションにはヨシヲ・ジョージ副大統領、プレトリック外務副大臣他が出席した。挨拶の中でLi大使は、本年3月のクリスチャン大統領の訪中を言及し、本年で28年となる両国の外交関係が一層強固になったと述べた。

(9月30日付当地中国大使館HP)

### **3 経 済**

#### 米国とミクロネシア連邦、JEMCO 年次会合で2018年のコンパクト資金用途を決定

8月30日にホノルルにおいて米国とFSM(ミクロネシア連邦)政府間でJEMCO (Joint Economic Management Committee)年次会合が開催され、総額6,100万米ドルが保健、教育、公的部門の能力向上、民間部門の発展、環境、公共インフラの部門に配分された。

(6日付 カセレリエプレス紙)

#### 日本への直行便が実現する日は近い？

ロバート外務大臣はミクロネシア連邦とパプアニューギニアの間で締結されている航空協定の改正に署名した。改正によってニューギニア航空はミクロネシア連邦から日本へ飛行することが可能になった。パプアニューギニアはパト外務貿易大臣が署名を行った。

(9月21日付 ミクロネシア連邦大統領府HP)

#### ミクロネシア会計検査官、続く財務状況向上を賞賛

ジョージ副大統領に対して会計検査官の Haser Hainrick 氏と Daniel Fitzgerald 氏がミクロネシア連邦政府の2016年度の監査結果について報告した。検査官は財政収支が黒字に落ちていることや費用について特段大きな不明点がなかったことを賞

賛した。

(9月22日付 カセリエプレス紙)

#### MRA、企業センター創立4年目を祝う

MRAは2014年に創業を開始した企業センターの4周年を祝った。同センターはミクロネシア短期大学のキャンパス内にあり、意欲的な生徒とコミュニティのニーズを解決する革新的な方法を考える。例えば、テキストが高いという問題があるならばテキストのレンタルサービスを始める、等。250,000米ドルの資金はMRAによって供与され、現在ではその他の団体からも援助を受けているが、4年経った今でもMRAが一番の後援者であることに変わりはない。

(カセリエプレス紙)

## **4 経済協力**

#### ニュージーランドとミクロネシア連邦がエネルギー活動パートナーシップを締結

再生可能エネルギー分野への130万米ドルの資金を供与するための署名式がニュージーランドとミクロネシア間で行われた。資金はポンペイ公共事業団体(PUC)によって使用される。なお、署名者はそれぞれ、ライオン・ニュージーランド大使、アドルフ氏PUC副委員長によって行われた。

(9月15日付 ミクロネシア連邦大統領府HP)

#### ポンペイロータリークラブ、イプウィテク・コミュニティセンターに2,000ドルを寄付

ポンペイロータリークラブは現在改修中のイプウィテク・コミュニティセンターに身体障害者のためのスロープを取り付けるための費用として2,000米ドルを寄付した。

(ミクロネシア連邦大統領府HP)

#### 中国大使館、ポンペイ州とコロニア市の警察に制服を寄付

リー中国大使は中国で作られた制服をポンペイ州とコロニア市の警察に寄付した。

(9月15日付 カセリエプレス紙)

#### 日本の互助会がスポーツ用品を寄付

2014年7月9日にミクロネシア連邦に設立されたMIA (Mutual Insurance Aid) の社長であるフジシマ氏は2015年9月にミクロネシア連邦キャプティブ保険協議会の代表に選出された。MIAは6,000米ドル相当のバレーボール用品をポンペイ・バレーボールチームに寄付した。寄付を行ったカキノギ氏は2020年の東京オリンピックのミクロネシア連邦の代表団が参加することを期待している、と述べた。

(9月9日付 カセレリエプレス紙)

#### チューク州政府、いちごホールディングス等と再会

いちごホールディングス関係者がチューク州の Eot 島と Piis Panewu 島に来島し、移動式浄水システムを導入した。このシステムの導入により、飲料水や緊急事態時の水が確保されることとなる。本プロジェクトの関係者はチューク政府、IOM (チューク)、赤十字 (チューク)。

(カセレリエプレス紙)

#### 中国、太陽光パネルをポンペイ公共事業局に寄付

中国は太陽光パネルをネッチ地区のレンゲル島とパレム島、サブワフィック地区、ヌクオロ地区、カピングワランギ地区に寄付した。寄付先はポンペイ公共事業局とつながりが深いケア・マイクロネシア基金によって決定された。引き渡し式はネッチ市役所で行われた。リー大使によるとソーラーパネルは民間企業によって集められたお金で購入された。

(カセレリエプレス紙)

#### 保健社会福祉省、JICAから第2回フィラリア撲滅キットを受領

JICAは75のフィラリア撲滅キットと医薬品を保健社会福祉省に寄付した。これは2020年までにフィラリアを撲滅するというWHOのキャンペーンの一環で行われた。JICAは保健分野がマイクロネシア連邦にとって優先順位が高いというWHOの考えに基づき2001年から医薬品をマイクロネシア連邦に継続的に寄付している。

(カセレリエプレス紙)

#### ネッチ農産物マーケット着工式

9月29日、ネッチ農産物市場の着工式が行われた。建設予定地はネッチ地区政府オフィスの近くで、旧ネッチ小学校の跡地に建設される予定。リー大使は、市場は地元経済の活性化につながり農家や漁師の収入に貢献するだろうと述べた。

(5日付 中国大使館HP)

## **5 文化・教育**

#### 江南市中学生15名がマイクロネシアを訪問

8月22日、ポンペイを訪問中の愛知県江南市の中学生15名が堀江日本大使を表敬訪問した。中学生15名は当地の学校を親善訪問した他、ナン・マドール遺跡の見学、ナーラップ島への訪問、一般家庭でのホームステイ等を通じ、異文化交流を楽しんだ。この訪問は2005年の愛知万博の開催がきっかけとなって始められた。

(8月22日付 ヤップニュース)

麗澤大学学生がミクロネシアを訪問

8月28日、麗澤大学の学生7名と成瀬教授やCOMの学生4名が堀江日本大使を表敬訪問した。麗澤大学のミクロネシア訪問は3年前から始められ、今回学生達はCOMの学生と一緒に現地の小学校で環境教育に関するワークショップを開催する予定。

(9月3日付 ヤップニュース)

麗澤大学交換留学生が堀江大使を表敬訪問

8月30日、2017年9月から2018年3月まで、交換留学生として麗澤大学で日本語や日本文化を学ぶ予定のミクロネシア短期大学(COM)のカチューゴ・ジョー氏が堀江日本大使を表敬訪問した。

(9月3日付 ヤップニュース)

立命館学生がミクロネシアを訪問

4日、ミクロネシア滞在中の立命館の学生4名が堀江日本大使を表敬訪問した。学生一行は9月4日～10日までミクロネシアに滞在し、ポンペイの環境調査、地域の学校でのプレゼンテーション等を通じて環境保護に関する教育や啓蒙活動をう予定。

(9月8日付 ヤップニュース)